

## 長年続いている事業のレビュー点検結果

## 長年続いている事業のレビュー点検結果

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
														執行等 改善		現状通 り
005	へき地における医療提供等の実施	昭和32年度	終了予定なし	1,412	-	1,412	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	成果実績(活動実績)を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築すること。	1,381	1,767	386	-	執行等改善	無医地区等に対する医療提供体制の状況や医療需要の有無等について、今年度調査を実施したところである。本調査の結果を踏まえ、事業内容等の改善を含め検討してまいりたい。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」274
038	医政局国家試験関係費	昭和21年度	終了予定なし	303	▲0	303	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	295	355	60	-	現状通り	執行実績や受験見込者数を踏まえて、業務内容・積算の見直しを行いながら、必要な予算額を計上した。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」16
042	医薬食品局国家試験事業	昭和24年度	終了予定なし	105	▲1	105	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	96	158	62	-	現状通り		
119	結核研究所補助	昭和14年度	終了予定なし	420	-	420	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	421	421	-	-	現状通り		
129	感染症発生動向等調査費	昭和37年度	終了予定なし	217	-	217	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	370	311	▲60	-	現状通り		
130	ワクチン対策事業	昭和24年度	終了予定なし	543	-	543	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	538	625	88	-	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を行う。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」538
138	国立ハンセン病療養所等入所者家族生活援護委託費	昭和29年度	終了予定なし	24	-	24	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	これまでの執行実績や今後の見込みを適切に反映させた上で、必要な予算額を確保すること。	21	20	▲1	▲1	縮減	実績を踏まえて支給対象者数を見直した。	
141	私立ハンセン病療養所補助金	昭和26年度	終了予定なし	124	-	124	ハンセン病療養所として、唯一の私立の施設に対する支出、対象人数の減少に合わせて予算・執行額も減額されており、必要な支出と認められる。(増田)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	124	124	0	-	現状通り		
156	国立ハンセン病療養所施設費	昭和24年度	終了予定なし	3,957	-	3,957	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	3,430	3,724	294	-	現状通り		要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」679

(単位：百万円)

事業 番号	事業 名	事業 開始 年度	事業 終了 (予定) 年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備 考
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容	
157	国立ハンセン病療養所運営費	昭和5年度	終了予定なし	10,630	-	10,630	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	10,572	10,607	35	-	現状通り	
171	原爆被爆者医療費	昭和32年度	終了予定なし	38,496	-	38,496	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	これまでの執行実績や今後の見込みを適切に反映させた上で、必要な予算額を確保すること。	36,455	34,265	▲2,191	-	執行等改善	被爆者数の減少、被爆者の高齢化等の要因を勘案し、28 要求額を対前年度△2,191百万円とした。
180	原爆被爆者健康診断費交付金	昭和32年度	終了予定なし	2,384	-	2,384	現行通り適正に事業執行を行うとともに健康診断受診率維持・向上に努めること。(横田)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	2,317	2,254	▲63	-	現状通り	予算の執行状況や補助実績を踏まえ、概算要求を行った。
190	日本薬局方調査事業	昭和24年度	終了予定なし	15	-	15	外部有識者点検対象外	現状通り	事業費の抑制を図りつつ、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	34	22	▲11	-	現状通り	
213	医薬品国家検定事業	昭和26年度	終了予定なし	9	-	9	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	9	9	-	-	現状通り	
224	医薬品等価格調査費	昭和27年度	終了予定なし	142	-	142	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	146	147	1	-	現状通り	平成24年及び平成26年の執行率が低いのは、その年に診療報酬の改定が行われず、医薬品価格本調査及び特定保険医療材料価格調査を実施しなかったためである。医薬品価格本調査及び特定保険医療材料価格調査は、現状では2年に1回の頻度で実施されているが、現在毎年改定について議論されているところであり、調査にかかる所要の経費は例年度確保する必要がある。
225	医薬品等産業振興費	昭和27年度	終了予定なし	226	-	226	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	220	244	24	-	現状通り	政策評価体系の見直しに伴う(項)及び(事項)の変更、要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」177

(単位：百万円)

事業 番号	事業 名	事業 開始 年度	事業 終了 (予定) 年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備 考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
241	医療保険給付費国庫負担金等	大正15年度等	終了予定なし	9,157,590	3,687	9,161,278	事業の執行および、秋のレビュー指摘に対する対応に努めること。(横田)	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	9,368,000	9,611,361	243,361	-	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとする。	
247	健康保険組合給付費等臨時補助金	昭和33年度	平成26年度	881	-	881	外部有識者点検対象外	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	0	0	-	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	
250	健康保険組合事務費負担金	大正15年度	終了予定なし	3,242	-	3,242	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	2,956	2,944	▲12	-	現状通り		
251	行政指導費	昭和40年度	終了予定なし	59	-	59	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	80	58	▲21	-	現状通り	28年度概算要求において、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	
255	医療費担当者指導費	昭和25年度	終了予定なし	6	-	6	・活動指標（受入機関数）、成果目標（研修人数）共に超過達成しており、執行率も問題ない。研修人数が151人／機関と多くなっており、一過性の研修に留まらず専門人材を育成する内容になっているか、成果を検証しながら進めて頂きたい。(栗原)	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	12	15	3	-	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、一過性の研修に留まらず専門人材を育成する内容になっているか、成果を検証しながら進めるとともに、引き続き予算額の確保及び適正な執行に努める。	
256	診療内容及び薬剤使用状況調査費	昭和25年度	終了予定なし	9	-	9	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	9	9	-	-	現状通り		
257	医療保険統計分析等経費	昭和29年度	終了予定なし	2	-	2	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	2	2	▲0	-	現状通り		
258	医療保険実態調査費	昭和37年度	終了予定なし	6	-	6	毎年度目標を達成しながら執行率は50%であるので予算減額が可能であると考えられる。(長崎)	現状通り	27年度予算において予算が減額されており、執行率の改善が見込まれる。引き続き適切な予算要求と執行に努めること。	3	3	▲1	-	現状通り	27年度予算において、予算の縮減を行っており、今後も適切な予算要求と執行に努める。	
260	国民健康保険の財政対策に必要な経費	昭和20年度	終了予定なし	18	-	18	外部有識者点検対象外	現状通り	一般競争入札が行われており、適正な執行がなされている。今後とも適切な予算要求と執行に努めること。	11	12	1	-	現状通り		

(単位：百万円)

事業 番号	事業 名	事業 開始 年度	事業 終了 (予定) 年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備 考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
276	国民健康保険組合出産育児一時金等補助金	昭和37年度等	終了予定なし	4,438	-	4,438	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	4,268	4,303	34	-	現状通り		
277	国民健康保険組合事務費負担金	昭和21年度	終了予定なし	2,412	3	2,415	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	2,352	2,319	▲33	-	現状通り		
314	管理栄養士国家試験費	昭和38年度	終了予定なし	45	-	45	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	45	45	▲0	-	現状通り	引き続き適正な執行に努める。	
340	水道施設等整備費（水道施設災害復旧費補助含む）	昭和27年度	終了予定なし	14,918	25,211	40,129	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	19,911	74,966	55,055	-	現状通り		要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」55,055
347	麻薬中毒者収容保護事業	昭和38年度	終了予定なし	0	-	0	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	0	0	-	-	現状通り		
348	麻薬・覚せい剤等対策費	昭和38年度	終了予定なし	149	337	486	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	334	346	12	-	現状通り		
351	麻薬等対策推進費（広報経費）	昭和63年度 昭和37年度 昭和62年度 平成18年度	終了予定なし	101	-	101	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	101	84	▲17	-	現状通り		
352	麻薬・覚せい剤等対策事業	昭和25年度	終了予定なし	503	57	559	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	514	556	42	-	現状通り		
368	労働災害防止対策費補助金	昭和39年度	終了予定なし	1,367	-	1,367	外部有識者点検対象外	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	1,367	1,367	▲0	-	現状通り		

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
														現状 通り		削減
380	安全衛生施設整備等経費	昭和23年度	終了予定なし	454	-	454	平成27年度予算増額の具体的な理由を明確にすること。(長崎)	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	783	507	▲276	-	現状通り	外部有識者の指摘による平成27年度予算増額の具体的な理由については、国交省に支出委任している安全衛生総合会館に係る改修工事のための経費が対前年で約2倍となったことによる増である。	
393	労働安全衛生等事務費	昭和23年度	終了予定なし	208	-	208	執行率の向上に努めるか、あるいは身の丈に合う予算要求をするか検討いただきたい。(井出)	事業内容の一部改善	点検結果は妥当であり、執行率も良好であるが、外部有識者のコメントを踏まえて、必要な検討を行うこと。	196	194	▲2	▲11	削減	光熱水料の見直しや修繕対象施設の減により、要求額を削減した。	
432	労災保険給付に必要な経費	昭和22年度	終了予定なし	776,066	-	776,066	外部有識者点検対象外	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	773,444	770,445	▲3,000	-	現状通り		
434	労災保険給付業務に必要な経費	昭和31年度	終了予定なし	14,452	-	14,452	外部有識者点検対象外	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	15,034	19,440	4,406	-	現状通り		
435	労働災害動向調査費	昭和27年度	終了予定なし	16	-	16	執行率の向上に努めること。(井出)	事業内容の一部改善	執行率が低調であることから、予算額を削減すること。	16	16	-	-	現状通り	当該経費は厚生労働行政の基礎資料となる調査に係るものであり、重要な経費である。例年、入札により経費を抑えているものであるが、平成28年度も例年通りの入札額となる見込みを現時点で立てることは困難であり、さらなる予算の削減が行われると予算内での事業実施が困難となるおそれがあるため、前年度同額を計上するものである。 なお、平成25年度までの執行状況を勘案し、平成26年度予算額を削減したことにより、平成26年度執行率は90%未満であるものの対前年度から改善を図ることができており、今後とも適正な予算執行に努めることとする。	
437	障害者職業能力開発校設備等	昭和22年度	終了予定なし	550	-	550	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	585	1,197	612	-	現状通り		

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
442	外科後処置費	昭和23年度	終了予定なし	66	-	66	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績は概ね当初見込みどおりとなっているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。	68	43	▲25	▲25	縮減	執行実績を踏まえ、所要額を減額の上、概算要求を行うこととした。	
443	義肢等補装具支給経費	昭和25年度	終了予定なし	2,558	-	2,558	外部有識者点検対象外	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	2,658	2,888	230	-	現状通り		
516	雇用促進融資業務	昭和37年度	平成49年度	297	-	297	事業内容の計画性が高く、引き続き適切な執行管理を実施して頂きたい。 H31年度迄の財投償還に見合った業務と理解したが、事業終了年度がH49年度と異なっている理由を明確にすること。(栗原)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	165	111	▲54	-	現状通り	「事業概要」欄において、ご指摘の内容について明確にした。	
593	能力開発対策事業費	昭和36年度	終了予定なし	40	-	40	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	48	56	9	-	現状通り		
604	技能検定等の実施	昭和34年度	終了予定なし	1,051	-	1,051	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	1,354	1,494	140	-	現状通り		
626	障害者職業能力開発校運営委託費	昭和22年度	終了予定なし	2,684	-	2,684	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	2,641	2,685	44	-	現状通り		
658	児童福祉問題調査研究事業	昭和39年度	平成26年度	135	-	135	外部有識者点検対象外	終了予定	事業は当初の予定通り、平成26年度をもって終了すること。	0	0	-	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する	
660	母子保健要員研修等事業等	昭和39年度	平成26年度	49	-	49	外部有識者点検対象外	終了予定	事業は当初の予定通り、平成26年度をもって終了すること。	0	0	-	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する	

(単位：百万円)

事業 番号	事業 名	事業 開始 年度	事業 終了 (予定) 年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備 考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
661	保育所運営費	昭和23 年度	平成26 年度	458,111	8,806	466,917	外部有識者点検対象外	終了予 定	事業は平成27年度より内閣 府に移管されることから、 平成26年度をもって終了す ること。	0	0	-	-	予定通 り終了	当該事業は終了するが、得られた知 見は他の事業にも活用する	平成27年度よ り、子どものた めの教育・保育 給付費負担金と して、内閣府へ 組み替え
679	婦人保護事業費補助金	昭和22 年度	終了予 定なし	1,221	14	1,235	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。	1,238	1,250	12	-	現状通 り		
681	婦人保護事業費負担金	昭和31 年度	終了予 定なし	915	4	919	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。	934	949	15	-	現状通 り		
682	児童保護費等負担金	昭和23 年度	終了予 定なし	95,857	1,046	96,903	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。	107,613	107,757	144	-	現状通 り		
689	国立児童自立支援施設の 運営に必要な経費	昭和元 年度以 前	終了予 定なし	153	-	153	適正に執行されている。本事業は 国立児童自立支援施設の運営と児童 自立支援専門員養成所の運営という 2事業で構成されており、前者の活 動実績は示されているが、後者活動 評価がないため、追記し点検すべ き。(栗原)	事業内 容の一 部改善	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。また、児童自立支 援専門員養成所については、 活動実績を把握し、事 業効果を検証すること。	150	162	12	-	執行等 改善	児童自立支援専門員養成所に係る活 動実績として、「当該年度に児童自 立支援専門員養成所を卒業する卒業 生の就職率」を追記し、今後把握し ていく。また、引き続き必要な予算 額を確保し、適切な執行に努める。	
691	結核児童日用品費等給付 事業	昭和33 年度 昭和34 年度	終了予 定なし	1	-	1	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。	1	1	-	-	現状通 り		
692	未熟児養育費負担金	昭和33 年度	終了予 定なし	3,602	-	3,602	引き続き適正執行に努めること。 (長崎)	現状通 り	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。	3,699	3,746	47	-	現状通 り	引き続き、必要な予算額を確保し、 適切な執行に努める。	
693	結核児童療育費負担金	昭和34 年度	終了予 定なし	3	-	3	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。	3	3	▲0	-	現状通 り		



(単位：百万円)

事業 番号	事業 名	事業 開始 年度	事業 終了 (予定) 年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備 考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
														現状通 り		縮減
700	児童扶養手当	昭和36 年度	終了予 定なし	173,614	-	173,614	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	171,787	170,594	▲1,193	-	現状通 り		
703	母子父子寡婦福祉貸付金	昭和28 年度	終了予 定なし	5,040	-	5,040	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、引き続き自治体に対して、適正な執行について指導していくこと。	4,406	4,406	-	-	現状通 り		
705	生活保護指導監査委託費	昭和30 年度	終了予 定なし	2,010	21	2,031	外部有識者点検対象外	事業内 容の一 部改善	国家公務員の定員管理の基本方針に準じ、本事業における補助職員の取扱いについて、見直しを検討すること。	1,966	1,925	▲41	▲41	縮減	「国の行政機関の機構・定員管理に関する方針」（平成26年7月25日閣議決定）を踏まえ、定員の見直しを行った。	
706	保護費負担金	昭和6 年度	終了予 定なし	2,882,322	▲62,909	2,819,412	地域的にやや偏重している感がある生活保護受給者数は、鈍化しつつあるものの依然として増加傾向にある。不正受給への対策は必須であり、引き続き厳正に制度の趣旨を守って対応して欲しい。（増田）	現状通 り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	2,863,511	2,900,638	37,128	-	現状通 り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に執行を行う。	
708	保護施設事務費負担金	昭和6 年度	終了予 定なし	28,130	426	28,556	引き続き適正な事業執行を行うこと。自立支援が事業目的の一つであるため、成果指標に地域移行者数の記載なども検討していただきたい。（横田）	現状通 り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	28,931	28,854	▲76	-	現状通 り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に執行を行う。また今後、成果指標に地域移行者数の記載等についても検討したい。	
713	生活保護に関する調査事業	昭和26 年度	終了予 定なし	102	-	102	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	103	138	35	-	現状通 り		要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」34
717	地域福祉活動支援事業費	昭和31 年度	終了予 定なし	166	-	166	外部有識者点検対象外	事業内 容の一 部改善	事業効果の大きいメニューに重点化し、予算額を縮減すること。	177	166	▲11	▲11	縮減	事業メニューの見直しを行うとともに、一部事業の積算の見直しを行った。	

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	H26当初予算	H26補正予算	H26補正後予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		H27当初予算A	H28要求額B	差引B-A	反映状況		備考	
								評価結果	所見の概要				反映額	反映内容		
														縮減		現状通り
722	地方改善事業	昭和35年度	終了予定なし	4,151	-	4,151	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	過去3か年において若干の執行残が発生していることを踏まえ、予算額を縮減すること。	3,773	3,586	▲186	▲190	縮減	直近の執行状況及び館数減少に伴う減額。	
723	社会福祉施設職員等退職手当共済事業給付費補助金	昭和36年度	終了予定なし	25,030	-	25,030	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	25,033	25,034	1	-	現状通り		
724	社会福祉事業施設等貸付事業利子補給金	昭和40年度	終了予定なし	5,622	-	5,622	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	当該事業の運営コストを見直し、予算額を縮減すること。	5,303	4,676	▲627	▲627	縮減	直近の決算等を踏まえ精査した結果、金利差が縮小し、予算額を縮減することができた。	
725	民生委員関連経費	昭和23年度	終了予定なし	19	-	19	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	7	37	30	-	現状通り	引き続き、民生委員制度の維持・継続、更なる活性化のため、必要な予算額の確保と効率的な執行に努める。	
727	社会事業大学経営等委託費	昭和21年度	終了予定なし	450	846	1,296	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	国家公務員の定員管理の基本方針に準じ、本事業における補助職員の取扱いについて、見直しを検討すること。	443	453	10	▲11	縮減	国家公務員の定員管理の基本方針に準じ、定員合理化を図った(▲1人)	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」20
731	地方改善施設整備費補助金	昭和28年度	終了予定なし	726	640	1,366	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	採択方針を適正化し、予算額を縮減すること。	636	500	▲136	▲136	縮減	事業内容精査に伴う減額	
732	社会福祉施設等施設整備(災害復旧費含む)	昭和21年度	平成31年度	3,019	8,035	11,054	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	2,561	9,289	6,728	-	現状通り		要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」6,728
736	戦傷病者戦没者遺族等援護法施行事務	昭和27年度	終了予定なし	17,500	▲634	16,865	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	14,673	13,134	▲1,540	-	現状通り		
737	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金等の支給事務	昭和38年度	終了予定なし	403	-	403	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	824	1,015	191	-	現状通り		
738	戦傷病者特別援護法等に基づく戦傷病者等に対する療養の給付等の援護事業	昭和28年度	終了予定なし	279	-	279	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	235	203	▲32	▲22	縮減	戦傷病者数の当然減及び直近の執行実績を踏まえて、療養費の所要額を推計することにより、概算要求額を縮減した。	

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	H26当初予算	H26補正予算	H26補正後予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		H27当初予算A	H28要求額B	差引B-A	反映状況		備考	
								評価結果	所見の概要				反映額	反映内容		
741	戦没者追悼式挙行等事業	昭和38年度	終了予定なし	139	-	139	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	155	155	0	-	現状通り		
743	遺骨収集帰還関連事業	昭和27年度	終了予定なし	1,361	-	1,361	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	1,549	2,126	577	-	現状通り	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」1,047	
744	遺骨伝達等事業	昭和26年度	終了予定なし	122	-	122	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	117	240	123	-	現状通り	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」10	
755	旧軍人遺族等恩給進達事務事業	昭和28年度	終了予定なし	43	-	43	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	43	43	▲0	-	現状通り		
756	戦没者叙勲等の進達等事業	昭和38年度	終了予定なし	3	-	3	迅速かつ適切に執行されている。引き続き適切な執行に努めること。(栗原)	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	3	2	▲2	-	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	
770	児童福祉事業助成	昭和37年度	平成28年度	42	-	42	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	39	37	▲2	-	現状通り		
771	特別児童扶養手当等給付	昭和39年度	終了予定なし	151,209	10	151,219	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	156,781	162,507	5,727	-	現状通り		
772	視覚障害者用図書事業等	昭和29年度	終了予定なし	323	1	324	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	事業開始後の社会情勢の変化による国民のニーズを反映し、予算額を縮減すること。	296	298	2	▲19	縮減	適宜委託事業の内容の見直しを行っており、28年度要求分においても既存事業の内容の一部見直しを行い事務費の縮減を行ったところ。今後も引き続き社会情勢の変化や利用者のニーズなどを反映した事業内容となるように必要な検討を行ってまいりたい。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」21
778	社会参加支援施設事務費	昭和25年度	終了予定なし	1,624	30	1,654	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	1,542	1,622	79	-	現状通り		

(単位：百万円)

事業 番号	事業 名	事業 開始 年度	事業 終了 (予定) 年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備 考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
														現状通 り		削減
779	精神障害者措置入院等	昭和25 年度	終了予 定なし	5,262	-	5,262	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。	5,485	5,541	56	-	現状通 り		
788	国立更生援護施設運営事業	昭和23 年度	終了予 定なし	2,496	▲2	2,494	外部有識者点検対象外	事業内 容の一部改善	事業効果の大きいメニュー に重点化し、予算額を縮減 すること。	2,338	2,200	▲138	▲138	削減	事業別に不用額の状況を十分に踏ま え、発達障害者の支援など新たな課 題に対応するため要求を行っている。 。	要求額のうち 「新しい日本の ための優先課題 推進枠」47
805	公的年金制度の持続可能性確保に必要な経費	昭和17 年度	終了予 定なし	135	-	135	外部有識者点検対象外	現状通 り	一般競争入札も行われており、事業内容は適正と認められるが、執行率の改善を図るための方策を検討すること。	126	125	▲0	-	現状通 り		
809	国民年金給付に必要な経費	昭和36 年度	終了予 定なし	880,232	-	880,232	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額の 確保及び適正な執行に努め ること。	790,631	701,552	▲89,079	-	現状通 り		
810	保険給付に必要な経費 (年金特別会計厚生年金勘定)	昭和17 年度	終了予 定なし	24,512,749	-	24,512,749	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額の 確保及び適正な執行に努め ること。	24,342,400	24,233,707	▲108,693	-	現状通 り		
812	福祉年金給付に必要な経費	昭和34 年度	終了予 定なし	445	-	445	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額の 確保及び適正な執行に努め ること。	270	171	▲100	-	現状通 り		平成26年度から福祉年金勘定が国民年金勘定に統合
820	日本私立学校振興・共済事業団負担金に必要な経費	昭和29 年度	終了予 定なし	0	-	0	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額の 確保及び適正な執行に努め ること。	0	0	-	-	現状通 り		
821	企業年金等の健全な育成に必要な経費	昭和40 年度	終了予 定なし	13	-	13	外部有識者点検対象外	事業内 容の一部改善	事業内容及び積算を見直し、執行率の改善を図ること。	24	49	25	-	執行等 改善	予算の執行状況を踏まえ、必要な予算の要求を行うこととした。	要求額のうち 「新しい日本の ための優先課題 推進枠」29
824	在宅福祉事業費補助金 ( <small>(項)</small> 高齢者日常生活支援等推進費)	昭和38 年度	終了予 定なし	2,710	-	2,710	外部有識者点検対象外	現状通 り	引き続き、必要な予算額を 確保し、適正な執行に努め ること。	2,710	2,710	-	-	現状通 り		

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	H26当初予算	H26補正予算	H26補正後予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		H27当初予算A	H28要求額B	差引B-A	反映状況		備考	
								評価結果	所見の概要				反映額	反映内容		
														削減		増大
830	高齢者の日常生活支援の推進に必要な経費	昭和38年度	終了予定なし	298	-	298	(事業全体の抜本的な改善) 本事業が開始された昭和38年度と比べて百歳を迎える高齢者が大幅に増加し、かつ、今後もさらなる増加が見込まれることにかんがみ、見直し案をこえて、銀杯の贈呈は廃止し、国として長寿を祝い、社会発展への寄与に感謝するに当たり、今後はお祝い状の贈呈のみの事業とすることが必要。また、本事業のレビューを機会として、厚生労働省において長年続いている事業を洗い出し、本当に国がやるべき事業なのかなどについて検討することが必要。	事業全体の抜本的な改善	百歳高齢者記念事業について、公開プロセスの評価結果を踏まえ、事業を見直し、予算額を縮減すること。	307	195	▲111	▲111	縮減	長年にわたり記念品を贈呈してきた経緯や、自治体や国民の間に継続希望の声があること等を踏まえ、お祝い状に加え、記念品の贈呈は継続する必要があると考えられる一方で、行政事業レビューにおいて、今後も百歳を迎える高齢者の更なる増加が見込まれることへの対応が必要との指摘がなされたことから、費用の抑制を図りつつ、記念品の内容について見直しを行うこととし、概算要求段階では記念品の単価を半額程度にして要求額を大幅に削減した。今後、地方自治体からの意見聴取等を行いながら年末までに記念品の見直し内容を確定していく。	
843	社会福祉施設災害復旧費補助金	昭和21年度	終了予定なし	-	-	-	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	0	0	-	-	現状通り		
845	世界保健機関分担金	昭和27年度	終了予定なし	4,895	-	4,895	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	5,506	5,976	470	-	現状通り		
847	国際機関分担金	大正7年度	終了予定なし	4,520	-	4,520	現行通り、適正に事業執行を行うこと。(横田)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	5,040	5,374	334	-	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	
884	研究調査経費(社会保障・人口問題基本調査)	昭和15年度	終了予定なし	29	-	29	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	170	168	▲2	-	現状通り		要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」48
914	厚生労働科学研究費補助金(医療研究開発推進事業費補助金を含む)	昭和26年度	終了予定なし	48,051	-	48,051	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	54,542	67,960	13,418	-	現状通り	引き続き必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	
919	統計調査事務費	昭和22年度	終了予定なし	35	-	35	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	50	64	13	-	現状通り	引き続き必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。	

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	H26当初予算	H26補正予算	H26補正後予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		H27当初予算A	H28要求額B	差引B-A	反映状況		備考	
								評価結果	所見の概要				反映額	反映内容		
920	疾病死因分類適正化等調査費	昭和31年度	終了予定なし	33	-	33	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	33	83	50	-	現状通り	引き続き必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。	
921	人口動態調査費	昭和22年度	終了予定なし	1,669	-	1,669	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	紙媒体で実施している調査フローの改善について、コスト効果も含め検討すること。特に、オンライン報告システムの更なる活用(オンライン化率の向上)について検討すること。	1,702	1,735	33	▲2	縮減	更なるオンライン実施率の向上を目指し、オンライン未実施自治体の実態等を把握し、紙の調査票の作成経費等を縮減した。	
922	医療施設調査費	昭和28年度	終了予定なし	75	-	75	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	オンライン報告の更なる活用(オンライン化率の向上)について検討すること。	9	12	2	▲0	縮減	オンライン化率向上に伴う諸経費を縮減。	
923	衛生統計調査費	昭和13年度	終了予定なし	51	-	51	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	競争性のある契約方式への移行について検討すること。	48	53	5	-	現状通り	印刷、梱包発送作業業務は、調達時期を踏まえて調査ごとの調達とする必要があり、その調達見込み額が少額であることから、事務の効率化を図るため随意契約を行っているもの。	
924	受療状況調査費	昭和28年度	終了予定なし	207	-	207	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	オンライン報告の更なる活用(オンライン化率の向上)について検討すること。	8	0	▲8	-	現状通り	次回調査(H29年)に向けてオンライン報告の更なる利用について検討を行う。	
925	社会福祉統計調査費	昭和12年度	終了予定なし	2	-	2	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	2	2	-	-	現状通り	引き続き必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。	
926	社会福祉施設等調査費	昭和31年度	終了予定なし	96	-	96	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	128	151	22	-	現状通り	引き続き必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。	
928	社会医療診療行為別調査費	昭和30年度	終了予定なし	46	-	46	外部有識者点検対象外	事業内容の一部改善	よりコストの低い他の手法に重点化し、予算額を縮減すること。	45	33	▲12	▲12	縮減	調査手法について、より効率的な方法に見直しを行い調査経費の縮減を図った。	
933	賃金構造基本統計調査費	昭和23年度	終了予定なし	29	-	29	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	30	30	-	-	現状通り	引き続き必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。	

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	H26 当初 予算	H26 補正 予算	H26 補正後 予算	外部有識者コメント	行政事業レビュー 推進チームの所見		H27 当初 予算 A	H28 要求 額 B	差引 B-A	反映状況		備考	
								評価 結果	所見の概要				反映額	反映内容		
934	毎月勤労統計調査費	昭和23年度	終了予定なし	914	-	914	ほぼ予定通りの執行になっているが、殆どが地方自治体への調査委託費である。定例的な調査であるので、調査方法のフォーマット化を進めてより簡便な入力環境にすることで委託費の縮減努力をすること。(増田)	事業内容の一部改善	地方自治体への調査委託費については、縮減に向けた検討を行うこと。また、オンライン報告の更なる活用(オンライン化率の向上)について検討すること。	922	919	▲3	▲11	縮減	オンライン化率向上に伴う都道府県への調査委託費における諸経費を縮減。	
935	失業中の退職政府職員等に対する退職手当に必要な経費	昭和28年度	終了予定なし	540	-	540	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	517	508	▲8	-	現状通り		
938	国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費	昭和21年度	終了予定なし	954	-	954	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	2,284	2,289	6	-	現状通り		
941	賃金構造基本統計調査費	昭和23年度	終了予定なし	108	-	108	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	108	108	▲0	-	現状通り	引き続き必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。	
945	過誤納保険料の払戻し等に必要経費(年金特別会計国民年金勘定)	昭和36年度	終了予定なし	47,851	-	47,851	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	53,496	55,512	2,016	-	現状通り		
946	過誤納保険料の払戻し等に必要経費(年金特別会計厚生年金勘定)	昭和17年度	終了予定なし	7,791	-	7,791	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	13,368	13,914	545	-	現状通り		
947	都道府県労働局等施設整備に必要な経費	昭和22年度	終了予定なし	3784	-	3,784	外部有識者点検対象外	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	3,633	4,840	1,206	-	現状通り		

事業数	反映額 (百万円)	評価
17	▲ 1,368	縮減
4	-	執行等改善
4	-	予定通り終了
89	-	現状通り
114	▲ 1,368	合計